

スマートけいはんなプロジェクトの取組が進んでいます ～学研都市での実証実験を実施～

令和2年10月19日
京都府商工労働観光部
文化学術研究都市推進課
075-414-4377

京都府では、国土交通省が主催するスマートシティモデル事業の先行プロジェクトである「スマートけいはんなプロジェクト」に取り組んでいます。

「スマートけいはんなプロジェクト」は、関西文化学術研究都市の精華町、木津川市にまたがる精華・西木津地区を対象としており、多様な交通手段を確保し、その先にある目的（病院、買物、観光周遊）との一体性を高めることでサービスの付加価値を向上し、地域の活性化を図ることを目的として、自治体や企業と推進協議会を立ち上げ取り組みを進めています。

今年度は以下のとおり実装に向けた実証実験に取り組んでまいりますのでお知らせします。

<実証実験概要>

◇オープン型宅配ボックス 実施主体：関西電力株式会社（関西電力送配電株式会社）
実施時期：令和2年10月19日（月）～令和3年1月末
概要：住宅地内の電柱等に設置したいつでも誰でも利用できる共用型の宅配ボックス。物流効率化で再配達コスト及びCO2排出量を削減

◇ラストワンマイルモビリティ 代表企業：西日本電信電話株式会社（以下、NTT西日本）
実施期間：令和2年11月後半～1か月
概要：最終目的地までのちょっとした距離を補うため、予約条件に応じて最適な乗合スケジュールで運行するオンデマンドモビリティ。マイカー利用の低減と外出機会の創出

◇デジタルツイン 実施主体：ダッソー・システムズ株式会社
デモ版リリース時期：令和2年10月末
概要：けいはんなの街区を仮想空間上の3Dモデルとして再現し、オープン型宅配ボックスやラストワンマイルモビリティなどの複数施策を可視化

<参考>スマートけいはんなプロジェクト推進協議会 取組体制

取組分野	グループリーダー	参画企業
モビリティ・MaaS ^{*1}	NTT西日本	オンデマンドスマート、関西学研都市交通、関西文化学術研究都市推進機構、関西電力、京阪バス、奈良交通、WILLER
モビリティ・ASV ^{**2}	双日	国際電気通信基礎技術研究所、島津製作所
エネルギー・防災	関西電力	ダッソー・システムズ [†] 、日新電機
地域活性化	(株)けいはんな	シスコシステムズ [†] 、関西文化学術研究都市推進機構、NTT西日本
健康・医療	日本テレネット	島津製作所、関西文化学術研究都市推進機構

※1MaaS：Mobility as a Serviceの略。出発地から目的地まで、利用者にとって最適経路を提示するとともに、複数の交通手段やその他のサービスを含め、一括して提供するサービスのこと。

※2ASV：先進安全自動車（Advanced Safety Vehicle）の略。先進技術を利用してドライバーの安全運転を支援するシステムを搭載した自動車のこと。

